

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス関係病床確保事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3235)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,941,886 千円 (前年度予算額： 12,230,417 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,230,417	12,230,417	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,941,886	13,941,886	0	0	0	0	0	0	0
決定額	13,941,886	13,941,886	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症については、県内での感染拡大を見据え、まん延期に耐える医療提供体制の充実・強化のため、入院患者を受け入れる医療機関への支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

患者受入体制を確保するため、入院医療を提供する県内医療機関に対し、病床確保経費等を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国事業：新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（国10/10）

○病床確保に係る経費

①重点医療機関である特定機能病院等

- ・稼働病床の国上限額 74,000円～436,000円／床・日
- ・休止病床の国上限額 16,000円～436,000円／床・日

②重点医療機関である一般病院

- ・稼働病床の国上限額 71,000円～301,000円／床・日
- ・休止病床の国上限額 16,000円～301,000円／床・日

③協力医療機関 ※令和4年9月分まで適用

- ・稼働病床の国上限額 52,000円～301,000円／床・日
- ・休止病床の国上限額 16,000円～301,000円／床・日

④その他の医療機関

- ・稼働病床の国上限額 16,000円～97,000円／床・日
- ・休止病床の国上限額 16,000円～97,000円／床・日

○消毒等に係る経費

実費相当額

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	13,941,886	患者受入れに向けた病床確保経費に対する補助金
合計	13,941,886	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第7波」の収束に向けて

(2) 後年度の財政負担

患者受入に向け、病床を確保している医療機関に対して支援を行う必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

「『第7波』の収束に向けて」では、県の対策として医療提供体制の堅持が明記されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 感染拡大防止を図るため、県内の医療機関において、十分な病床を確保する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を行う医療機関に対して、病床確保料を補助し、入院患者用の病床を確保した。
令和 3 年度	新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を行う医療機関に対して、病床確保料を補助し、入院患者用の病床を確保した。
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	県内での感染拡大を見据え、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内の感染拡大防止と医療提供体制の整備は極めて重要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症により、肺炎の症状が重症化した患者の入院を受け入れるためには、病床を確保する必要がある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県内医療機関の状況の把握に努めており、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--